

統計調査ニュース

令和4年(2022年)8月

No.429



データサイエンスの裾野に立つ — 立正大学データサイエンス学部の目指すもの —

立正大学データサイエンス学部長 北村 行伸

立正大学データサイエンス学部は2021年4月に開設し、ようやく1年目を終えたところです。本学部は学生定員1学年240名、教員25名と、国内最大規模のデータサイエンス学部です。

データサイエンス学部は滋賀大学、横浜市立大学、武蔵野大学などで本学に先行して設立され、今も多くの大学が同様の学部開設を準備しているところです。この背景には、国内にデータ分析・利用の専門家が圧倒的に不足しているという事実があります。文部科学省、経済産業省、総務省、内閣府、デジタル庁などを始めとする政府各府省はIT・AI人材の育成を急務として取り組んでいるところです。もちろん、データサイエンス人材の育成は社会全体の共通の課題であり、文部科学省もデータサイエンス学部で教えるべきカリキュラムについては、一定の基準を設けて、共通して学ぶべき科目を設定しているところです。

とはいえ、各大学のデータサイエンス学部はそれぞれの特色を出して、学生を呼び込むことを競

い合っていることも事実です。例えば、(1)最先端の技術・知識を教えることで、この分野の最先端研究者あるいは起業家を育てるのか、社会のIT・AI人材の裾野を支える人材を育てるのか、(2)理系の人材か文系の人材か、(3)統計分析・プログラミングなどを行う技術者か新しいビジネスを起業する人材か、などの選択は各大学のデータサイエンス学部設置理念によって違ってきます。本学部の設置に関する構想を練り上げている段階で、吉川洋立正大学長(当時)と合意したのは、中堅私学である立正大学は、文系のデータサイエンスをベースに、社会の様々な分野の裾野でデータサイエンスを応用する人材を育成していくということでした。

立正大学の文系データサイエンス学部構想は昨年来多くのメディアで取り上げられ、データサイエンス学部の設置を構想していた文系私学の大学関係者や文系人材の雇用を考えている企業から多くの問合せを受けてきました。

目次

データサイエンスの裾野に立つ	日本人口学会第74回大会に参加して…………… 5
—立正大学データサイエンス学部の目指すもの— …… 1	2022年リニューアル開講
令和4年就業構造基本調査の広報活動について …… 2	「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中! …… 6
令和4年就業構造基本調査のインターネット回答について… 3	～令和4年度「統計の日」標語の決定～ …… 7
統計研修生募集の御案内	
—令和4年度第3四半期(令和4年10～12月)— …… 4	

令和4年就業構造基本調査の広報活動について

本年10月1日現在で、令和4年就業構造基本調査を実施します。この調査は、国民の就業・不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に実施します。また、この調査は、国が実施する統計調査のうち、統計法（平成19年法律第53号）に特に重要なものと規定されている「基幹統計調査」です。

この調査を、円滑に実施するため、以下の広報活動を行います。

調査名ロゴの作成

安心して働ける明日へ。

**就業構造
基本調査**

- ◆ 正社員としての雇用、女性や高齢者の就業機会の促進、副業の促進、時間と場所にとられない柔軟な就業、といった様々な働き方がある中で、その全ての人が、より豊かに就業できるための基礎資料となるべく「安心して働ける明日へ。」をキャッチフレーズに
- ◆ 統計の象徴である、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフのニュアンスを取り入れた調査名のデザインに

統計局が実施する広報活動

◆キャンペーンサイトの開設

○令和4年就業構造基本調査に関する理解を深めてもらうため、興味・関心がひきつけられるような視認性が高いキャンペーンサイトを開設

(URL : <https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2022/campaign/index.html>)

・ 6月13日 開設

・ 8月1日 本格運用

・ 9月1日 内容充実（調査方法など、調査対象世帯に向けたメッセージの掲載）



◆新幹線主要駅へのデジタルサイネージの掲示

○3大都市圏の通勤・観光の玄関口となる新幹線主要3駅にデジタルサイネージを掲示

・ 「東京駅八重洲北」、「東京駅八重洲南北通路」、「名古屋駅新幹線口」、「名古屋駅地下鉄通路」、「新幹線新大阪駅」に掲示

◆インターネット回答促進動画の作成

○インターネット回答を促進するため、「政府統計オンライン調査総合窓口」へのアクセス方法や電子調査票の操作方法などを視覚的に理解できる動画の作成

◆広報誌への掲載

○総務省や統計局が発行する各種広報誌等に、就業構造基本調査の記事を掲載し、政府が実施する統計調査であることを周知

◆インターネット広告、雑誌広告

○リスティング広告や、ツイッター、インスタグラムといったSNSの広告、雑誌広告による周知

◆マンション関係団体等への協力依頼

○オートロックマンション等における調査が円滑に行えるよう、協力依頼を実施

◆広報展開について協力依頼

○各種団体に対しても、ホームページ・機関誌への掲載、会員の皆様への周知に関する協力依頼を実施

令和4年就業構造基本調査のインターネット回答について

令和4年就業構造基本調査においては、簡単・便利なインターネットにより回答できます。

パソコンやスマートフォンで簡単に回答できます

- ◎ パソコンやスマートフォン・タブレット端末から24時間いつでも御都合の良い時間に御回答が可能です。
- ◎ 世帯に配布する『インターネット回答のための操作ガイド』には、ログイン情報（調査対象者IDなど）とともに、操作手順も図を用いて分かりやすく記載しています。
- ◎ 電子調査票は、レスポンスウェブデザインで作成しており、パソコン等の端末に依存せず回答の再開や確認が可能です。



個人情報は厳重に管理されます

- ◎ 不正なアクセスなどの監視を24時間行っていますので、回答データは厳重に守られます。
- ◎ インターネット上のデータの送受信は、盗み見等を防ぎ、安全な通信を行うために、TLS 1.2による暗号化通信を行っています。



回答の義務があります

- ◎ 就業構造基本調査は、統計法という法律に基づき実施する「基幹統計調査」です。
- ◎ 基幹統計調査を受ける人には、回答の義務（報告義務）があり、また調査を実施する関係者には調査によって知ったことを他に漏らしてはならない義務（守秘義務）があります。



▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

－ 令和4年度第3四半期(令和4年10～12月)－

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和4年度第3四半期（令和4年10～12月）に実施する研修は下記のとおりです。研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又はポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

令和4年度第3四半期に実施する研修について

	研修課程名	主な対象者	開催時期	実施方法	研修概要
業務レベル別研修	統計実務職員（統計データアナリスト補）研修（中級）				
	統計利用の基本	①初級研修を受講済みの者 ②国家公務員のうち、統計データアナリスト、統計データアナリスト補認定を目指す者	10月中旬～11月下旬のうち4週間	オンライン	中級研修として、既存のデータやグラフから要因、結果、状況を読み解く手法を学ぶ
	調査設計の基本				中級研修として、統計調査の企画立案、調査設計の流れ、根拠法令を学ぶ
	統計分析の基本				中級研修として、自身でデータを分析、考察する際に必要な統計的分析手法を学ぶ
	統計取扱業務担当職員向け研修（初級）				
	統計担当者向け入門	①「初めて学ぶ統計」の受講者 ②新規採用職員、統計初学者	10月中旬～11月下旬のうち4週間	オンライン	統計行政関係部署に新たに就いた者にとって必要な、統計データの入手、グラフによる可視化、利用の仕方を学ぶ
初めて学ぶ統計	新規採用職員、統計初学者	これから統計利用を始める者にとって必要な、基礎的な統計リテラシー、統計制度を学ぶ			
分野別研修	データ利活用コース				
	政策立案と統計	①EBPMに興味のある者 ②施策立案部門の担当者	10月中旬～11月下旬のうち4週間	オンライン	政策立案と統計の関連性を学び、PDCAサイクルにおける統計の重要性を認識するとともに、実務における統計データのいかし方を学ぶ
	政策評価と統計				PDCAサイクルにおける政策の事後的評価の観点から、統計の活用方法を学び、またアンケートによる効果測定の際に必要な基礎知識を習得する
	ビッグデータ利活用ー基礎から応用までー	ビッグデータの利活用に興味のある者			データの分析手法、可視化について実例を学び、ビッグデータからデータ分析する意義、目的について習得する
	データサイエンス入門	データサイエンス初学者			これから統計利用を始める者にとって必要な、データの活用のされ方、データの見方など、データの活用方法について学ぶ
	データサイエンス演習	データサイエンス入門の受講者・修了者			入手したデータの分析演習などを通し、得られたデータからどのようなことが分かるのかを実践的に学ぶ
	誰でも使える統計オープンデータ	オープンデータをこれから利用する者			e-Statの使い方など、公的統計データの入手の仕方からオープンデータの活用方法を学ぶ
	統計作成実務コース				
	産業連関表の作成・分析	産業連関表の作成担当者	10月17日(月)～21日(金)【5日間】	集合	実務担当職員の基礎知識として、産業連関表の作成手法・分析手法を演習を通して学ぶ
	人口・経済統計コース				
	経済予測	経済統計を用いた推計、分析に興味のある者	12月5日(月)～9日(金)【5日間】	集合/ライブ	経済学の基礎を学びつつ、経済モデルの推計など統計的視点からの経済分析手法を学ぶ
	地域分析コース				
	地域分析	GISを用いた分析に興味のある者	11月15日(火)～18日(金)【4日間】	集合	各種統計データをGISやRESASを用い、数字上のデータを地図上に可視化することで現状と課題を把握する手法を学ぶ
	マイクロデータコース				
マイクロデータ分析のためのプログラミングー統計解析ソフトRの利用方法ー	Rの初学者	10月4日(火)～6日(木)【2.5日間】	集合	統計解析ソフトRの一般的な使い方を、演習を通して学ぶ	

* 各研修の日程、内容等は変更になる場合があります。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、集合研修を中止又はライブ配信形式に変更する場合があります。

【統計研修ポータルサイト（統計研修ひろば）】

<https://t-kensyu.sbj.nstac.hq.admix.go.jp>

*閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク（LGWAN）への接続が必要となります。

問合せ先 総務省統計研究研修所 研修企画課
TEL 042-320-5874 E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

日本人口学会第74回大会に参加して

令和4年6月11日(土)から12日(日)にかけて、神戸大学(兵庫県神戸市)において、日本人口学会第74回大会が開催されましたので、その概要を紹介します。

日本人口学会は、人口に関する科学的な調査研究を推進し、関連研究者の相互交流を図り、人口学の発展に寄与することを目的として、1948年に創設された70年以上の歴史をもつ学会です。本学会には、人口学の基礎理論や関連する各分野の研究者、人口統計に関連する官庁や企業の実務家などが加入しており、機関誌の刊行や日本人口学会大会、研究報告会の開催などの事業を行っています。

統計局、政策統括官(統計制度担当)、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、本学会に団体会員として加入し、大会において研究成果の発表や統計行政への取組の紹介を行うなど、積極的に参加しています。

今大会では、シンポジウム1件、テーマセッション1件、企画セッション4件及び自由論題13件が開催され、全国の大学、研究機関、企業及び官公庁などの参加により、多数の発表が行われました。

統計局では、自由論題 E-1「統計と分析」において、関野国勢統計課課長補佐及び北原国勢統計課係長から、「令和2年国勢調査 不詳補完結果の状況」の発表を行いました。

なお、大会の構成は以下のとおりです。

○ シンポジウム

「人口学の新たな視点－自然科学・人文科学・社会科学の観点から－」

○ テーマセッション

「社会格差とリプロダクション」

○ 企画セッション1

「セクシュアリティ人口学の現在とこれから」

○ 企画セッション2

「人口動態モデルのフロンティア」

○ 企画セッション3

「地域人口の分析方法：最近の成果と課題」

○ 企画セッション4

「兵庫県豊岡市における外国人住民の暮らし・仕事・教育」

○ 自由論題

A-1:「国際1」

D-1:「死亡」

A-2:「国際2」

D-2:「歴史1」

A-3:「人口移動」

D-3:「歴史2」

B-1:「感染症1」

E-1:「統計と分析」

B-2:「感染症2」

E-2:「地域人口」

C-1:「出生・子育て」

F-1:「労働とジェンダー」

F-2:「労働と年齢構造」



大会発表の様子



会場にて(神戸大学)

「統計研究彙報第80号」論文募集の御案内

現在、統計研究研修所では令和5年3月刊行予定の「統計研究彙報」に掲載する論文を募集しております。詳細につきましては、以下のURLを御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/training/2kenkyu/2-2-bo.html>

2022年リニューアル開講 「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中!

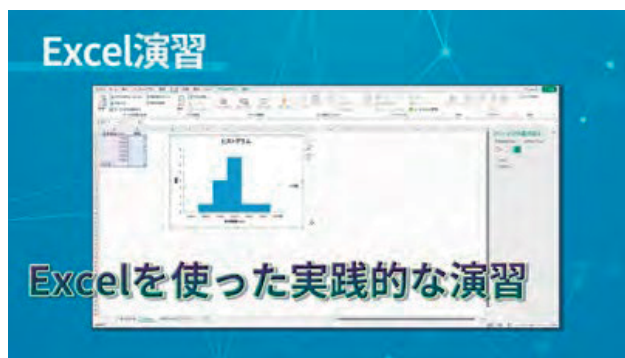


総務省統計局は、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を10月4日（火）からリニューアル開講します。

本講座は、社会人・大学生を対象とした、実践的なデータ分析の手法を学習することができる講座です。今回、AI技術やデータサイエンスの最新動向を踏まえ、最新のトピックスを取り入れるとともに、仮説検定や統計解析ソフトRを用いたデータ分析手法の紹介を追加するなど、内容を一部リニューアルしています。

データサイエンスの実務や教育の最前線で活躍されている方を講師にお招きし、時代やテクノロジー

の変化に対応した最新の事例を盛り込み、実務においてすぐに活用できるよう、実践手法を詳細に解説しています。



講座内では、Excelを使って実際に手を動かしながら学習することができ、知識がより身につくようになっていくほか、統計解析ソフトRを使った統計解析やデータの可視化についても紹介しています。

本講座は、どなたでも無料で登録及び受講が可能です。受講したことがない方も、過去に本講座を受講されたことがある方も、是非御受講ください。

「社会人のためのデータサイエンス演習」リニューアル後の講座内容

週	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは NEW	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介 ※AI技術やデータサイエンスの最新動向を踏まえ、リニューアルしました!
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的な手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告 NEW	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習 ※分析結果の解釈で重要となる「仮説検定」の考え方を追加しました!
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために NEW	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説 ※近年のデータサイエンスの活用の高まりを受けて、リニューアルしました!
	補講・演習 NEW	Excelや統計解析ソフトRを使って実際に演習も行います ※新たに統計解析ソフトRを用いた分析方法の紹介・演習を追加しました!

- 開講期間 令和4年10月4日（火）～12月13日（火）予定
- 学習時間 1回10分程度×5～7回程度（1週間）×5週
これとは別に補講・演習を実施（10分程度×11回）
- 受講の前提条件 表計算ソフト「Microsoft Excel」の基本的な操作ができること。

詳細はこちらから ⇒ <https://gacco.org/stat-japan2/>



～ 令和4年度「統計の日」標語の決定 ～

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対する国民の皆様の一層の協力を頂けるようにと定めた「統計の日」（10月18日。昭和48年7月3日閣議了解）の周知を図り、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用するため標語を募集しています。

今年は、令和4年4月1日（金）から5月9日（月）にかけて募集を行ったところ、5,280作品の応募を頂きました。

【応募数】

総数	5,280点
うち 小学生の部	143点
中学生の部	862点
高校生の部	565点
一般の部	1,024点
統計調査員の部	1,550点
公務員の部	1,136点

これらの応募作品について数次にわたる審査の結果、最終審査の統計行政推進会議において、神奈川県小田原市 岩谷 宗作さんの作品『集まれば 大きな力に 統計調査』を特選としたほか、併せて5名の方の作品を佳作として決定しました。

特選に選ばれた岩谷さんの作品は、「統計の日」ポスターに使用されます。ポスターは、国の行政機関、都道府県、市区町村、公立の小中学校及び高等学校等に配布されるなど、全国で掲示されます。

各府省、各都道府県におかれましては、特選及び佳作の作品について、広報資料や広報用品、封筒への印字など、各種広報に幅広く御活用いただき、積極的な広報に御協力いただけますようお願いいたします。

その他、令和4年度「統計の日」標語についての詳細は、ホームページ（https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/r4hyogokettei.html）にて紹介していますので、是非御覧ください。

【特選】

◎一般の部

『集まれば 大きな力に 統計調査』

岩谷 宗作さん（神奈川県小田原市）

【佳作】

◎小学生の部

『かこげんざいみらい数値で見るの楽しいね』

小松原 由風さん（群馬県前橋市立宮城小学校4年）

◎中学生の部

『数字が教える確かな未来、あなたが支える統計調査』

前岡 里奈さん（東京都町田市立薬師中学校3年）

◎高校生の部

『統計は未来を紡ぐ社会の基盤』

中村 一吹さん（福岡県立須恵高等学校2年）

◎統計調査員の部

『統計の 数字の先に 未来の姿』

鳥居 忠嗣さん（静岡県湖西市登録調査員）

◎公務員の部

『見て分かる 時代の流れと その変化』

梶間 悠太さん（千葉県我孫子市役所）

（学年は令和4年6月現在）

最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(千は万人)	万人	%	円	2015=100	兆円	円	円	全国	東京都区部	
実数	2022. 2	125,194	6658	2.7	268,898	96.2	28.8	257,887	450,912	100.7	100.7	
	3	P 12526	6684	2.6	288,709	96.5	P 37.2	307,261	412,821	101.1	101.1	
	4	P 12519	6727	2.5	282,437	95.1	P 30.7	304,510	436,850	101.5	101.5	
	5	P 12505	6730	2.6	277,026	88.0	P 30.4	287,687	359,511	101.8	101.9	
	6	P 12493	6759	2.6	P 452,695	P 95.8	...	276,885	736,070	101.8	101.8	
	7	P 12484	P 102.3	
	前年同月比	2022. 2	-	-0.5	* -0.1	1.2	* 2.0	1.7	1.1	0.1	0.9	1.0
3	-	-0.2	* -0.1	2.0	* 0.3	P 1.3	-2.3	3.4	1.2	1.3		
4	-	0.4	* -0.1	1.3	* -1.5	P 4.4	-1.7	-3.6	2.5	2.4		
5	-	0.3	* 0.1	1.0	* -7.5	P 8.3	-0.5	-5.1	2.5	2.4		
6	-	0.3	* 0.0	P 2.2	* P 8.9	-	3.5	-1.2	2.4	2.3		

(注) P：速報値 *：対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2022年8月~9月)

《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
8月3日	都道府県職員・教育関係者向け【滋賀大学との共催セミナー】「教育関係者向けセミナー」(統計研究研修所開催)開講【ライブ配信】	8月10日	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「ビッグデータ活用-基礎から応用まで」開講(～9月6日)
〃	オンライン統計研修【第2回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講(～30日)	〃	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講(～9月6日)
〃	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講(～30日)	29日	統計データアナリスト研修【第1回】「統計データアナリスト研修」開講【集合・ライブ配信】(～9月2日)
〃	オンライン統計研修【第2回】統計実務職員(統計データアナリスト補)研修「調査設計の基本」開講(～30日)	月内	国連アジア太平洋統計研修「持続可能な開発目標(SDGs)のモニタリングのための公的統計の理論と実務コース」開講(～11月)
〃	オンライン統計研修【第2回】データ活用コース「政策評価と統計」開講(～30日)	9月7日	統計データアナリスト研修「本科(総合課程)」開講【集合】(～12月6日)
10日	都道府県職員・教育関係者向け【滋賀大学との共催セミナー】「教育関係者向けセミナー」(滋賀大学開催)開講【ライブ配信】	21日	データ活用コース【滋賀大学との共催セミナー】「データサイエンスセミナー」開講【ライブ配信】
〃	オンライン統計研修【第2回】統計実務職員(統計データアナリスト補)研修「統計分析の基本」開講(～9月6日)	26日	人口・経済統計コース「社会・人口統計の基本」開講【集合】(～27日)

《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
8月5日	家計調査(家計収支編：2022年6月分及び2022年4～6月期平均)公表	9月6日	消費動向指数(CTI)2022年7月分公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2022年6月分及び2022年4～6月期平均 ICT関連項目：2022年4～6月期平均)公表	20日	消費者物価指数(全国：2022年8月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2022年6月分及び2022年4～6月期平均公表	〃	小売物価統計調査(全国：2022年8月分)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2022年7月分公表	〃	人口推計(2022年4月1日現在確定値及び2022年9月1日現在概算値)公表
9日	労働力調査(詳細集計)2022年4～6月期平均公表	21日	Statistical Handbook of Japan 2022 刊行
19日	消費者物価指数(全国：2022年7月分)公表	27日	住民基本台帳人口移動報告(2022年8月分)公表
〃	小売物価統計調査(全国：2022年7月分)公表	30日	労働力調査(基本集計)2022年8月分公表
22日	人口推計(2022年3月1日現在確定値及び2022年8月1日現在概算値)公表	〃	サービス産業動向調査(2022年7月分速報及び2022年4月分確報)公表
26日	消費者物価指数(東京都区部：2022年8月分(中旬速報値))公表	月内	令和3年経済センサス活動調査 産業別集計「製造業・概要編」公表
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2022年8月分)公表		
30日	労働力調査(基本集計)2022年7月分公表		
〃	住民基本台帳人口移動報告(2022年7月分)公表		
31日	令和2年国勢調査 移動人口の就業状態等集計公表		
〃	令和3年社会生活基本調査 生活時間及び生活行動に関する結果公表		
〃	サービス産業動向調査(2022年6月分速報及び2022年4～6月期速報並びに2022年3月分確報及び2022年1～3月期確報)公表		
9月2日	小売物価統計調査(ガソリン)2022年8月分公表		
6日	家計調査(家計収支編：2022年7月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2022年7月分)公表		

編集発行 **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。